

議 事 録

会議名	平成 2 5 年度常任幹事会		
No.	常任幹事会 003	文責	岸田、神田
開催日時	平成 25 年 6 月 22 日 (日) 15:00~18:00	開催場所	第 2 むさしのホール
出席者 【敬称略】	1 期 野村、浜野、2 期 榎本、5 期 山本、7 期 谷、丸山、12 期 小川、15 期 荒井、 16 期 川上、18 期 関、岸田、中久保、中谷、20 期 川田、北島、中島、25 期 神田、鴨下 宮下、米倉、30 期 湊、野久尾、丸森、根本、芹沢、34 期 力野、63 期 菊地		
会議の目的	定時常任幹事会		

内容

はじめに、事務局より出欠の状態が報告された。

総員 108 名のところ、出席 27 名、委任状提出 43 名、計 70 名で過半数を満たしている
ので本会議は正式に成立したと認められる。

次に書記として 18 期の岸田と、25 期の神田が選任され、
議事録の署名人として正副議長と書記 2 名が確認された。

山本議長より今回は定期総会なので前年度の活動報告と決算、および今年度の活動計画と予算を
議論していただくと話があった。

議事を始める前に、山川専務理事から退任届が提出されている旨、報告され承認された。
専務理事を補充するか、また、するとすれば誰を選出するかは定款に従ってこの先検討される。

これより議事

1. 第 3 期の活動報告がされ承認された

2. 第 3 期の収支計算書が報告され承認された。

- ・ 65 周年記念パーティには予算 (75 万 : 5,000 円 * 150 名) を上回る 229 名の参加があり収入は大幅
に増加した (121.3 万)。開催費もそれに伴い増加している。
- ・ 従来、同窓会から卒業生に送る記念品は卒業生からの同窓会費から学校が支出し、その残金を同窓会
費として学校から同窓会へ渡していたが第 3 期からは同窓会費はそのまま一人 1 万円として受け取り
記念品代金は同窓会から支払うことで帳簿をわかりやすくした。
- ・ 新ホームページ制作費は検収が 4 月となったので翌年に繰り越した。
- ・ 旧ホームページ保守費は 9 月からの 1 年契約だったため 8 月まで支払われる。
これに従い旧ホームページは 8 月末まで見ることができる。
- ・ ゴルフコンペ、スキー旅行の費用は参加者負担のため収入支出には計上しない。余剰金は同窓会に寄
付していただいた。
- ・ 年次懇親会、会報製作は行われなかったため収入支出とも発生していない。

3. 第 3 期正味財産増減計算書

(2) 経常費用

- ① 事業費の中の「65 周年 DVD 作成費」は、全体の作成費 (618,717 円) から現在の在庫分 (516
セット) の作成費相当額 (316,308 円) を計算して差し引いたものである。

②管理費の中の「常任幹事会(65周年パーティー)開催費」は、実際の費用(721,266円)から「65周年用封筒」の在庫分(500枚)の作成費相当額(6,500円)を計算して差し引いたものである。

以上、報告の通り承認された。

4. 第3期貸借対照表

資産の部、(2) その他流動資産の貯蔵品はDVDの在庫分と封筒である。

以上、報告の通り承認された

5. 監査報告

監事 25期宮下さん、30期丸森さんより監査報告がなされ、第3期の事業報告、計算書類その他理事の職務執行について、適正に処理されていた旨報告された。

追記事項に関してはのちに説明される。

補足：DVDに関して

DVD製作に当たり500部で50万円、1,000部で60万円との提示があったため1,000部製作した。現在約500セット残っているがこのいきさつから言うと正確には原価は10万円である。

DVDは同窓生への配布のためのものであり、その中の有志から寄付をいただくので貯蔵品とした。

6. 第4期事業計画

第4期事業計画が説明され承認された。

7. 第4期収支予算書

- ・ゴルフコンペ、スキー旅行は参加者で費用負担ということで予算には計上していない。
- ・寄付金収入はDVDによる寄付を見込んで20万円とした。
- ・新ホームページ制作費は昨年度予算として200万円積んでいたが検収が4月になったので今年度にずれ込んだものである。
- ・新ホームページ保守費はレンタルサーバー代である。
- ・新ホームページ改修費は「旧ホームページ記事の移行」「恩師プロフィール機能追加」などいくつか改修項目があがっており承認されれば予算の範囲内で理事会承認を受けて実施予定である。
- ・会報制作費は予算として承認されれば実行委員会を立ち上げ検討していく。

質疑応答

若竹会寄付について

卒業生からもらっている同窓会費の一部を若竹会へ出すと言うのは“いってこい”の状態にも見えるがこれに関する議論は今までなかったのか？また、寄附の金額を減らすと言う考え方もあると思うがどうか。

→ 何年か前までは若竹会への寄付として集めたものを寄付していたが、だいたい毎年30万円ほどになること、学校も期待していることなどから定額を寄付するようになった。

イベント関連費用の予算書への計上について（議論）

- ・活動をたくさん行えば費用もたくさんかかる
- ・同窓会と名のつく活動は収支を載せるべき、収支がきちんと説明できれば良いのではないか
- ・収支のプラスを寄付として載せればよいのではないか（収支決算書で）

→ 予算書にはイベント収支は載せず事業計画にイベントを載せる

第4期収支予算書は承認された。

8. その他 - 理事長より

3年後の70周年記念行事について校長、新しい副校長と会ってきた。

70周年は学校事業で同窓会は協力をするという立場である。

準備委員会を正副理事長、正副議長、事務局長により立ち上げ学校の動きをつかんでいきたい。

同窓会と学校のよりよい関係を作っていきたい。

常任幹事の分布を公平にするためのプロジェクトチームを作りたい。

理事の分布もルール作りが必要だと思う。できれば次の総会までに定款の変更を含め

組織の拡大事業として考えたい。

文部省予算は削られてきている。多くの企業に学生を送り込んでいる大学はそれらの企業からの寄付、あるいは医学部のある大学は病院からの寄付などが寄せられるが学芸大学は教員養成でありこういう寄付が望めない。また、他の大学は同窓会からの寄付も多いが、学芸大学は国からの補助があるだろうと思われなかなか寄付が集まらない。この先補助がカットされると存続にかかわってくる。すでに小学校は1クラス減った。クラスが減れば教員が減り、部活も減るなど影響が出てくる。

9. 監査報告 追記事項に関して

同窓会資金不正流出事件

この問題に関して昨年よりの調査を踏まえ、6月2日調査委員会が立ち上がった。

今後はこの調査委員会によりなぜこのような事件が起きたのか調査し後輩にどう説明ができるのか考えていきたい。





この問題を起こした本人は定款によれば除名となるがそれも事実が明らかになってからのこととしたい。

現段階ではいまだ不明な点も多いため、詳細は調査委員会の報告を待って公表したい。

調査委員会は6月30日に第1回の会合を開き調査を開始する。

以上の議事経過及び議事内容につき正副議長及び書記の計5名が確認し、各自記名捺印する

議事録署名人記名捺印

役職	記名	印	
常任幹事会議長	山本 眞		
常任幹事会副議長	小川 忠夫		
常任幹事会副議長	川上 純二		
書記	岸田 れい子		
書記	神田 薫	